

えひめ版県・市町連携事業応援金 (第2弾) 給付申請書兼請求書

令和 年 月 日

松前町長 岡本 靖 様

松前町えひめ版県・市町連携事業応援金 (第2弾) (以下「応援金」という。) の給付を受けたいため、関係書類を添えて申請します。

なお、応援金の申請に当たり、裏面の内容について誓約・同意します。

裏面の内容に誓約・同意の場合は左欄にチェック

申請者の情報	事業所の所在地	〒 松前町						
	法人名 (個人の場合は屋号)	フリガナ						
		名称						
	法人代表者の 役職・氏名又は 個人事業主の氏名	フリガナ						
		役職・氏名	(印)					
	申請者の種別 (いずれかにチェック)	<input type="checkbox"/>	法人	法人番号				
			設立年月日					
			資本金の額又は出資総額					
			常時雇用する従業員数					
		<input type="checkbox"/>	個人事業主	事業開始年月日				
個人事業主の自宅住所			〒 松前町					
代表者の生年月日	T・S・H・西暦							
主たる業種	※日本標準産業分類の「中分類」を記載							
連絡先(電話番号)								
給付申請額		円						
減少率	事業収入 減少率確認欄	<input type="checkbox"/> 令和3年6月から同年9月までのいずれかの月の事業収入が令和元年又は令和2年同月比で30%以上減少している。 <input type="checkbox"/> 令和3年6月から同年9月までのいずれかの連続する2月の事業収入が令和元年又は令和2年同月比で連続してそれぞれ15%以上減少している。 <input type="checkbox"/> 令和2年9月2日から令和3年5月31日までの間に開業し、又は設立した者は、別途事業収入減少比較表に記入の上提出する(下記の減少率に関する記載は不要)。						
		月間事業収入	<input type="checkbox"/> 6月	<input type="checkbox"/> 7月	<input type="checkbox"/> 8月	<input type="checkbox"/> 9月	単位	確認事項
		<input type="checkbox"/> 令和元年 <input type="checkbox"/> 令和2年	A				円	6月から9月までのうち、比較対象とする月を1つ又は2つチェックし、月の事業収入を記入してください。
		令和3年	B				円	
減少率 (A-B)/A×100					%	単月で30%又は2月連続で15%以上減少していることを確認ください。		
比較月を含む事業年度の年間事業収入の下限確認		<input type="checkbox"/> 比較月(比較期間)を含む事業年度分の年間事業収入が、法人240万円以上、個人120万円以上である。 ※令和2年1月1日から同年9月1日までの間に開業し、又は設立した者にあつては、開業又は設立の日を含む月から同年12月までの月数に20万円(個人の場合は10万円)を乗じて得た額以上である。						
振込先口座	金融機関	銀行 金庫 農協	支店	支店 店 所				
		口座種別	<input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座	口座番号				
	フリガナ							
	口座名義人							
必要書類	添付書類 (町からの求めがない場合、町長が必要と認める書類は不要)	■ 第3条各号に掲げる要件を証する書類						
		<input type="checkbox"/> 【法人】令和元年又は令和2年の対象月と同じ月の属する事業年度分に係る法人税の確定申告書の控えの写し						
		<input type="checkbox"/> 【個人】令和元年分又は令和2年分の所得税の確定申告書(所得税の確定申告書の提出義務のない者にあつては、住民税の申告書)の控えの写し						
		<input type="checkbox"/> 対象月の売上台帳又はこれに代わる書類						
		<input type="checkbox"/> 納税状況確認同意書(様式第2号)						
		<input type="checkbox"/> 農業者にあつては、事業収入等申立書(様式第3号)						
<input type="checkbox"/> 町長が必要と認める書類								

※この申請書は、町において給付決定をした後は、応援金の請求書として取り扱います。

誓約事項

私は、松前町えひめ版県・市町連携事業応援金（第2弾）（以下「応援金」という。）の給付を申請するに当たり、以下の内容について、誓約します。

この誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

1 申請に関して

- (1) 申請内容は事実と相違なく、申請要件を満たしています。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、感染対策に取り組んでいます。
- (3) 応援金の給付を受けた後にも事業を継続する意思があります。
- (4) 新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第24条第9項又は第31条の6第1項の規定に基づく愛媛県からの営業時間短縮等の協力要請を受けた事業者ではありません。
- (5) 「緊急事態措置又はまん延防止等重点措置の影響緩和に係る月次支援金（令和3年6月から同年9月までの影響を要件とするもの）」を受給していません。本日以降に支援金等を受給した場合は、応援金を返還します。
- (6) 松前町から検査・報告・是正のための措置の求めがあった場合は、これに応じます。
- (7) 愛媛県や松前町の感染防止対策に協力するとともに、業種別ガイドラインを遵守し、感染防止に努めます。

2 暴力団排除に関して

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、事業所の代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員等は、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同条第6号に規定する暴力団員に該当せず、かつ、将来にわたっても該当しません。また、暴力団、暴力団員、暴力団員等及び暴力団密接関係者が、申請事業所の経営に参画していません。

同意事項

私は、応援金の給付を申請するに当たり、下記の内容について、同意します。

- (1) 誓約事項に虚偽が判明した場合は、応援金の返還の支払に応じるとともに、事業者名等の情報を公表されること。
- (2) 貴職において必要と判断した場合は、申請書類に記載された情報を国、愛媛県、警察又は税務機関に提供すること。